



日産合成工業株式会社 メールマガジン

2016・07・07 第 115 号



先日来の大雨により、九州地方を中心に被害が発生しています。お亡くなりになられた方がたのご冥福をお祈りするとともに、深い悲しみにある皆さまに衷心よりお悔やみを申し上げます。また、被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い収拾・復興をお祈りいたしております。

「水郷潮来あやめまつり」に行ってきました。このまつりは毎年5月下旬から6月下旬にかけて茨城県潮来市の水郷潮来あやめ園（旧称:前川あやめ園）で行われます。

園内には、約500種類100万株のあやめ（花菖蒲）が植えられており、見頃を迎えると一面に咲き誇る様子は壮観です。例年約80万人の人出があるということです。

潮来へのアクセスは、つくば方面からは国道125号線、51号線経由で約70分でしたが、圏央道が大栄JCTで東関東自動車道とつながったので、潮来ICまで約50分と約20分短縮されました。東京方面からは、東京駅八重洲南口からの高速バスで約70分ほどですが、このバスは最短で10分間隔で運行されています。

潮来市は茨城県東南部に位置し、東西が約12km、南北が13km、面積70km²、人口約3万人の小さな町ですが、水辺に囲まれた自然豊かなまちです。気候は、四季を通じて穏やかで、夏涼しく冬穏やかな海洋性の気候となっています。

このため古くから水運陸路の要所として栄え、近世には奥州諸藩の物産を集めて江戸に向かう千石船が銚子河口から利根川で潮来に来て、ここで積み荷を江戸へ送るために1～2反帆の高瀬舟に積み替えを行う中継港として大いに繁栄をしました。しかし、元文年代(1736～1740年)の大洪水で利根川の本流が佐原地方に移ると、中継港としての機能を失ってしまいました。さらに、明治に入って常磐線が開通し、内陸部の陸運が盛んになってからは、水運は衰退し、それに歩調を合わせるかのようにして潮来も寂れてしまいました。

この地方は、周囲を水に囲まれた水郷地帯であったことから、水路が縦横に張りめぐらされて



おり、日常的に交通手段として舟（サツパ舟）が使われていました。地元の若い娘の収入源として、観光客の案内を兼ねてサツパ船を操ったところ観光客に好評を博したことから「娘船頭さん」として知られるようになりました。

嫁入りする際に花嫁や嫁入り道具を運搬するときにもサツパ舟が使われており、昭和30年前半ごろまでは日常的に行われていました。

いわば水郷ならではのバーจินロードです。川岸から送られる多くの祝福に包まれて進む舟は、昔ながらの情緒ある情景です。

さて、ニッサンメールマガジン第 115 号をお届けします。

三井住友銀が農業参入 コメ生産で新会社

日本経済新聞 電子版 2016/6/15 2:00 によれば、三井住友銀行が農業に参入します。

その概略は7月に秋田県の農業法人や秋田銀行、NECグループと新会社を設立し、コメの生産を始め、2018年度以降は他県に広げるとしています。

新会社は自ら農地を保有して農業を営む「農業生産法人（農地所有適格法人）」として活動します。コメ生産や加工を手がける農業法人の「大潟村あきたこまち生産者協会」（秋田県大潟村）が株式の過半を保有し、三井住友銀は秋田銀と同じく銀行法の上限の5%しか持てませんが、事業全体を主導するとしています。リース会社のNECキャピタルソリューションと三井住友ファイナンス&リースも出資します。

まず今秋にも高齢化で刈り取りや精米などの農作業が困難になった農家から作業を請け負いますが、来春以降は農家から土地を借りてコメ生産を開始することとしています。農作業の担い手は近隣農家への委託や地域住民の臨時雇用で確保します。

10年後には秋田県内で東京ドーム約210個分に相当する1000ヘクタールまで生産面積を広げる計画です。生産したコメはあきたこまち生産者協会を通じ、個人やホテルなどに販売します。

酪農・豆知識 第108号の概要およびURL

酪農・豆知識」第108号では107号に引き続きスマート酪農について取り上げました。107号ではスマート農業全体の流れについて紹介しましたが、第108号ではスマート酪農経営の目的、中心的なシステムである搾乳ロボットおよび搾乳ロボットを効率よく機能させスマートな酪農を実現するための各種のサブシステムを紹介しています。そしてスマート酪農が実現すれば搾乳と給飼で年中無休・定時間常拘束から解放されます。しかし、そのためには大きくは経済便益確保とロボット自体が生産性改善を図ってくれるわけではなく、ヒトの介在が重要な点の2点の課題を述べています。

「酪農・豆知識」は、当社のウェブサイトのトップページにある「技術情報」をクリックし、「酪農・豆知識」のページに入るとご覧になれます。ぜひご利用ください。

お知らせ

印刷用のPDFファイル

添付のPDFファイルをご利用いただくためには、Adobe Readerが必要です。お持ちでない場合、こちらから[ダウンロード](#)し、インストールしてご利用ください。

メールマガジンへの登録・質問等

メールマガジンの配信の停止、登録内容の変更等は[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

このメールマガジンへのお問い合わせ、ご意見・ご要望等、並びに技術的な問題等がございましたら、[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

アドレス変更をお忘れなく

人事異動、転退職等でメールアドレスが変更になった場合で、引き続き日産合成工業株式会社のメールマガジンの配信を希望される方は、旧アドレスと新アドレス及び新所属等を[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。配信できなくなったアドレスは、メーリングリストから自動的に削除しておりますので、よろしく申し上げます。

また、今後の配信が不要な場合にも当社のウェブサイトのトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。

QRコード

このメールマガジンを紙媒体でお読みの方が、容易に[当社のウェブサイト](#)のトップページにアクセスできるようにQRコードを添付しました。

